



MSE60-28001

マルチカラーインテリアイルミネーション

取付・取扱要領書

この度はマルチカラーインテリアイルミネーション(MODELLISTA)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品 番	塗装色	適合車種	備考
MSE60-28001	-	ノア / ヴォクシー	-

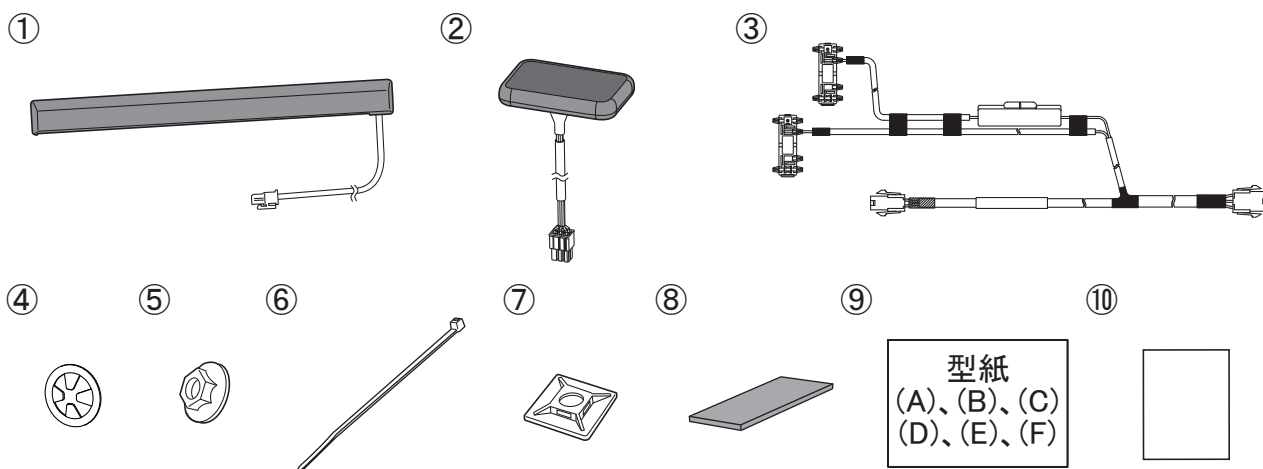
・最新の適合情報は MODELLISTA公式サイトをご覧ください。 <https://www.modellista.co.jp/>

■ 構成部品

No.	部 品 名	品 番	数量	備 考
①	LEDガーニッシュ		1	材着黒/シボ
②	コントローラー		1	ブラック塗装品
③	ハーネス		1	電源ハーネス
④	丸形スピードナット		3	
⑤	フランジナット		2	M5
⑥	結束バンド		9	
⑦	マウントベース		5	
⑧	クッションテープ		3	50×100 グレー
⑨	型紙		1	A5 シールタイプ
⑩	PACプライマー(青袋)	08867-00230	1	K-500

※確認・本商品が到着後、すぐに破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行なってください。



警告

この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行なうと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行なうと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと



警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項を守り作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクを守り、確実に締め付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。



注意

- ❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取り付けはキズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行い、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。
- ❗ エンジンルーム内、ラジエーターキャップ付近に配線を通したり部品を取り付けがある場合は、腕当りや上着がラジエーターキャップに接触し、キャップが緩む場合があります。ラジエーターキャップが緩むと冷却水が飛び出し思わぬケガや、そのまま走行した場合オーバーヒートに繋がるおそれがあります。ラジエーターキャップに限らず、用品取り付け作業後には作業部位周辺に異常がないかご注意ください。
- ❗ 特に指示のない限り、取り外した車両部品は再使用しますので紛失しないよう整理してください。

脱脂作業について(別紙の脱脂作業要領も参考にしてください。)

- ❗ 脱脂作業は清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)で行ってください。上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤やパーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

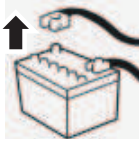
- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープが剥がれるおそれがあります。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力が低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 外気温が15℃未満の場合は両面テープの接着力が著しく低下します。部品または貼り付け面を人肌程度まで加温してください。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が不足すると両面テープが剥がれるおそれがあります。
- ❗ 接着力を促進するため、取り付け後20分以内は洗車しないでください。

取り付けが終わったら

- ❗ 商品及び車両に傷が付いていないことを確認してください。
- ❗ 商品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認してください。
- ❗ 商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

LEDランプ配線取り付け上のご注意

- ❶ ビニールテープをご使用の際は、必ず難燃性の耐熱ビニールテープを使用してください。
推奨品：V9650-0484（耐熱ビニールテープ・灰色）
- ❷ バッテリー復元作業後は、機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。取り付け作業後は必ず該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、初期化・調整作業の有無をご確認ください。



取り付ける前に

- ・作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を外す。



部品を取り付ける際は

- ・部品サイズにあった工具を使用する。



- ・部品の裏側に注意して、配線の噛み込みやビスの接触、断線に十分に注意する。



配線の取りまわしは

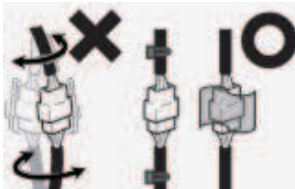
- ・コネクタは必ず本体持って外し、配線は引っ張らない。



- ・バリやエッジ部はガムテープ等で保護をする。



- ・コネクタは「カチッ」と音がするまで確実に接続して、配線は無理なチカラで引っ張らない。



配線のクランプは

- ・結束バンドは配線が動かない程度に締めて、締めすぎない。
- ・結束バンドの余った部分は、エッジにならないようにカットする。
- ・カットした末端がほかの配線と接触しないようにする。
- ・コネクタが振動により異音がしないように確実に固定する。

⚠ **注意：** バッテリー接続中に作業を行なう際は、エアバックセンサー等に衝撃を与えないように、十分に注意して作業を行なってください。

■ 目次

1. 表紙・品番・適合車種・構成部品・構成部品図..... 1
2. 取り付け上のご注意(取り付け作業の方へ)..... 2
3. LEDランプ配線取り付け上のご注意..... 3
4. 目次・取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取り付け構成図..... 4
5. 取り付け準備・取り付け要領..... 5～16
6. 取り付け完了後の点検・注意事項..... 16
7. 仕様表・配線図..... 17～18

■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・一般工具・クリップリムーバー
- ・ケガキ針・ヤスリ・保護メガネ
- ・電動ドリル(刃: 3mm/5mm/7mm)
- ・ホールソー(刃: 15mm/20mm)
- ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・養生テープ
- ・イソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス

■ 保証について

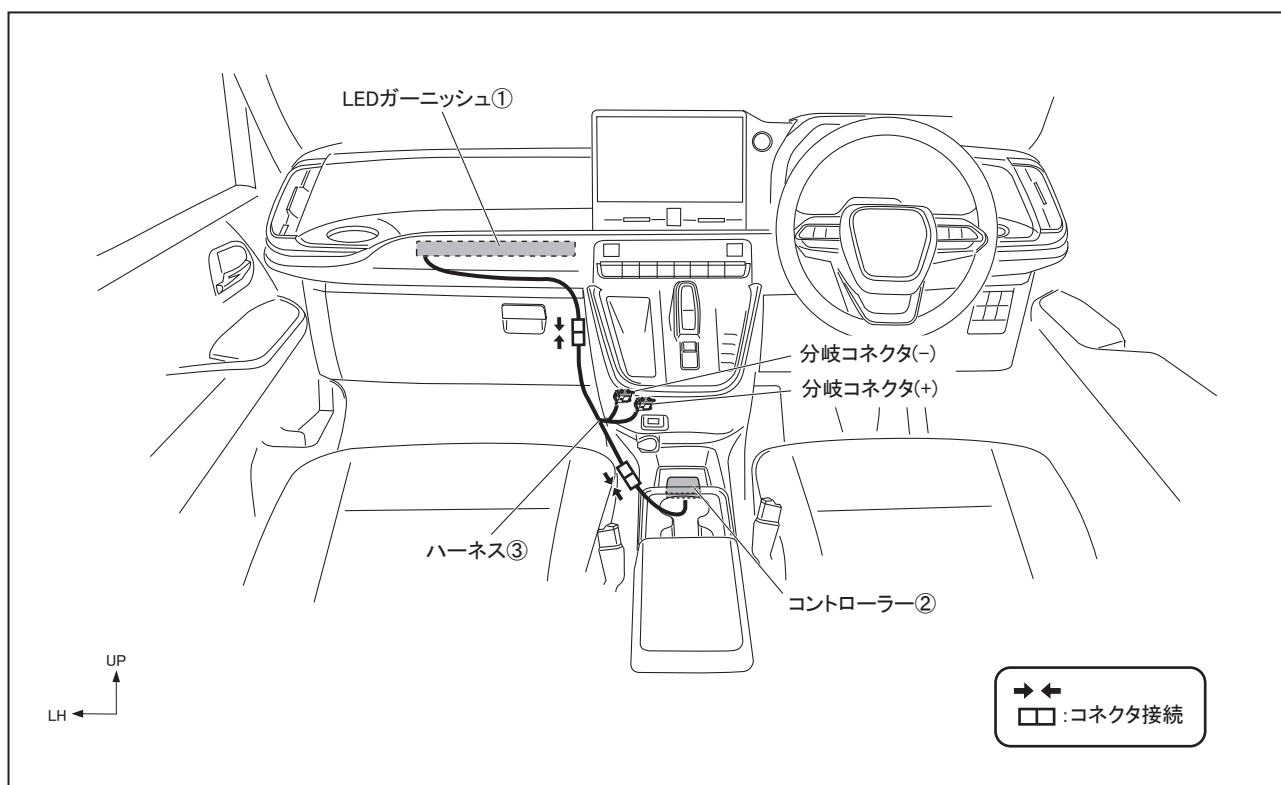
本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。

(1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで)

※保証の詳細はMODELLISTA公式サイト<<https://www.modellista.co.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

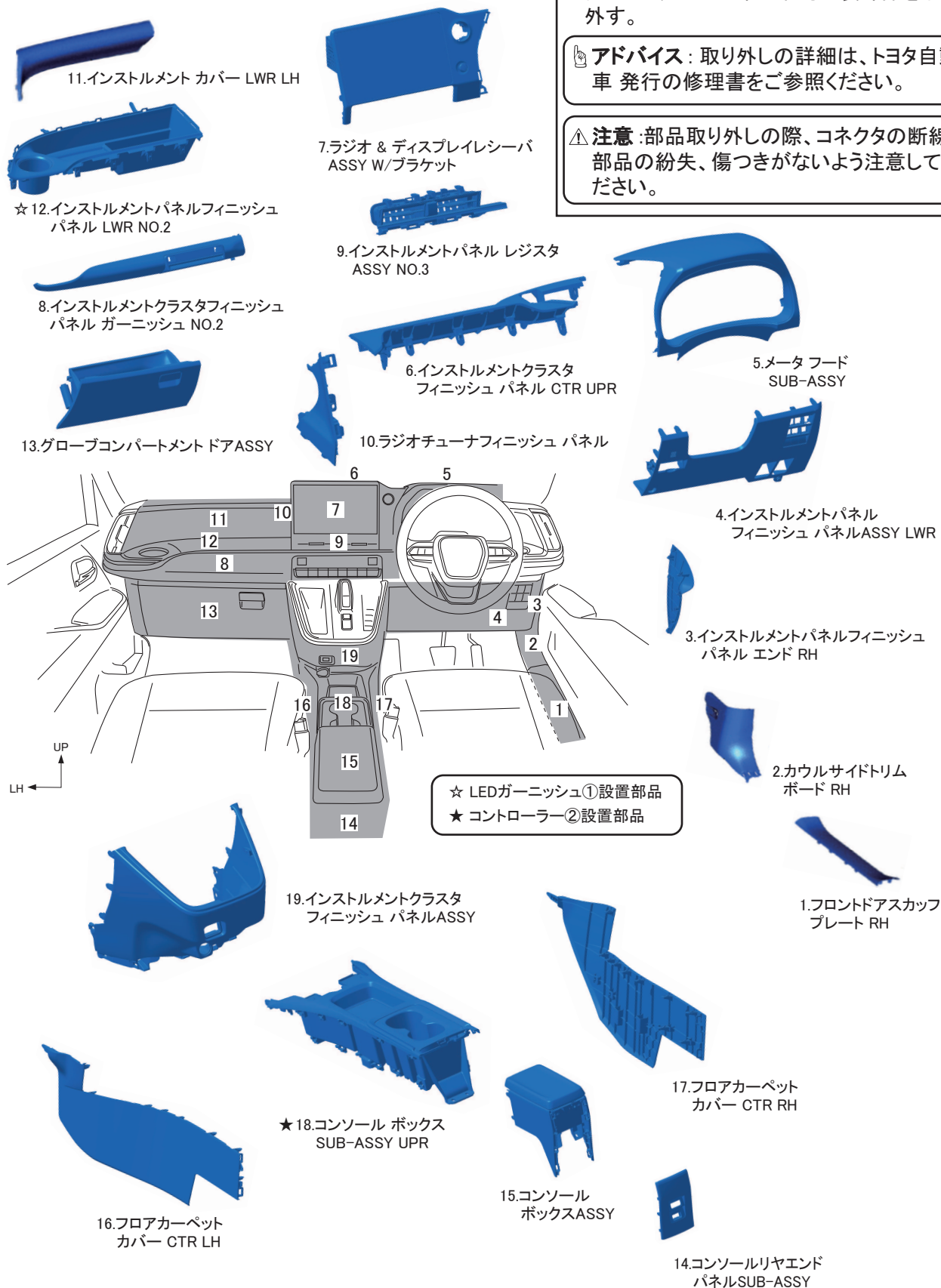
■ 取り付け構成図



■ 取り付け準備・取り付け要領

□ マルチカラーインテリアイルミネーションの取り付け準備

図1



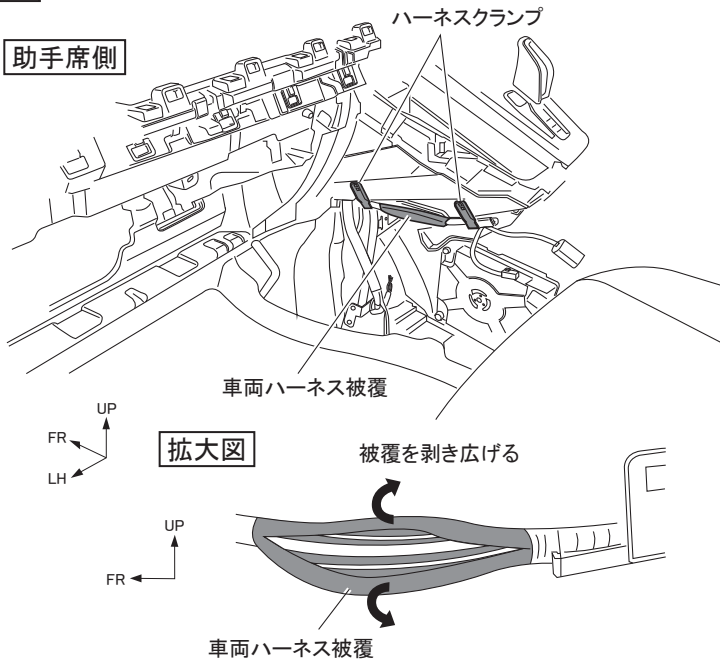
1. バッテリーの⊖端子を取外す。
2. 図1のように ■ 部の車両内装部品を取り外す。

アドバイス：取り外しの詳細は、トヨタ自動車 発行の修理書をご参照ください。

注意：部品取り外しの際、コネクタの断線、部品の紛失、傷つきがないよう注意してください。

図2

助手席側



3. 図2のように指示部のハーネスクランプ(2箇所)を外し車両ハーネスの被覆を一部剥く。

⚠ **注意** : 作業の際車両ハーネスを傷つけないよう充分注意してください。

📌 **アドバイス** : ハーネスクランプを外す際は、図示部の上下ロックを精密ドライバー等で解除してください。

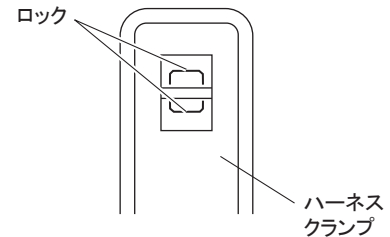
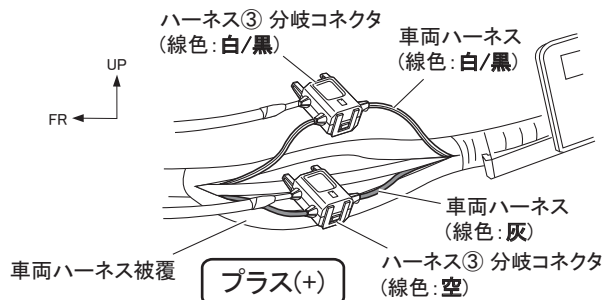


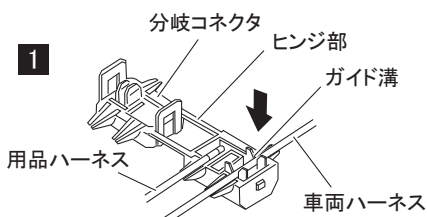
図3

拡大図

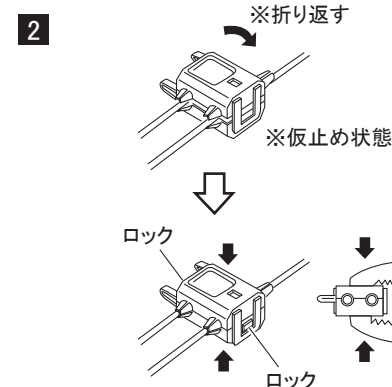
マイナス(-)



□分岐コネクタの接続手順



1 接続する車両ハーネスを確実にガイド溝に挿入する



2 車両ハーネスをガイド溝に収めた後、分岐コネクタを折り返し、仮止め状態を作りプライヤー等の工具を使用して左右のロックがかかるまで確実に挟み込む。(クリック音を確認)

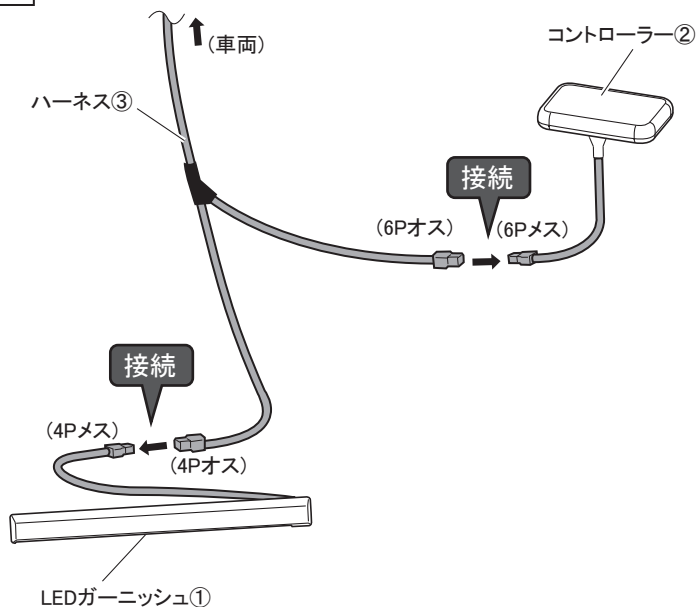
4. 図3のようにハーネス③の分岐コネクタをマイナス→プラスの順で車両ハーネスに接続する。(2箇所)

⚠ **注意** :

- (1)分岐コネクタは、他の用品が装着されている場合でも必ず、車両ハーネスに接続してください。
- (2)分岐コネクタ接続時に、クリック音と合わせてロック(2箇所)が確実に嵌合したことを確認してください。
- (3)接続するコネクタの端子番号及び、用品ハーネスと車両ハーネスの線色を確認し誤った接続をしないよう充分注意してください。
- (4)同一コネクタに複数の分岐コネクタを接続する場合は、接続位置をずらしてください。
- (5)ヒンジ部が破損しても確実にロック(2箇所)できれば性能上問題ありません。
- (6)一度使用した分岐コネクタは再使用しないでください。誤って接続した場合、分岐コネクタを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、ビニールテープで絶縁処理してください。

📌 **アドバイス** : 18ページの配線図も合わせて確認してください。

図4

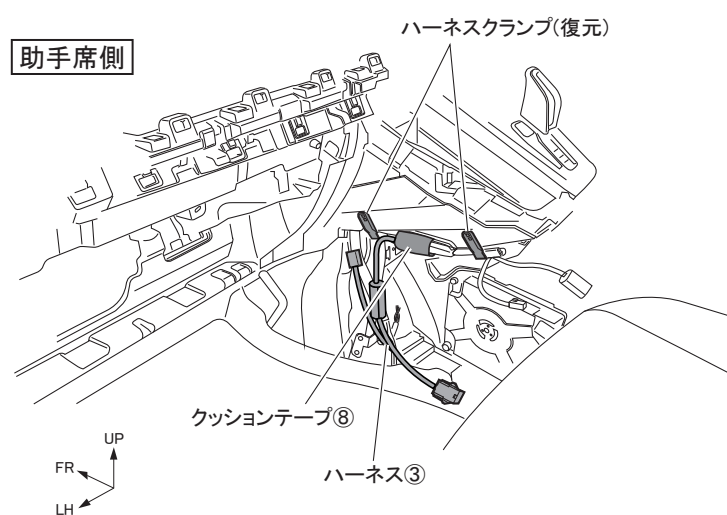


5. 図4のようにハーネス③の4PコネクタにLEDガーニッシュ①の4Pコネクタを接続する。
6. 図4のようにハーネス③の6Pコネクタにコントローラー②の6Pコネクタを接続する。
7. 図1で取り外した車両電子部品のコネクタを全て接続する。
8. バッテリーの⊖端子を仮接続する。
9. ACC電源をONの状態にし、LEDガーニッシュ①、コントローラー②が点灯、作動することを確認する。

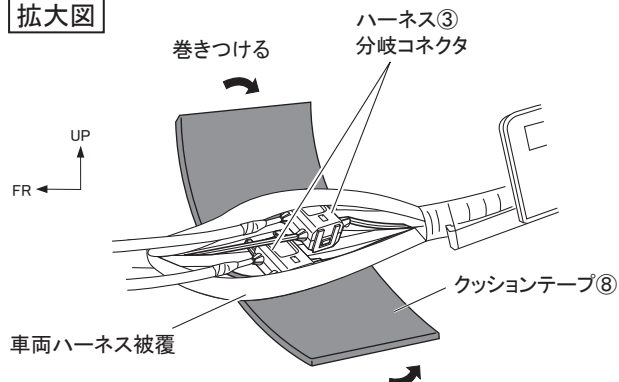
アドバイス：点灯仕様は17ページの仕様表で確認してください。

10. 仮接続したバッテリーの⊖端子を取り外す。
11. 7.で接続した車両電子部品のコネクタを取り外す。
12. 5.6.で接続したLEDガーニッシュ①、コントローラー②のコネクタを取り外す。

図5

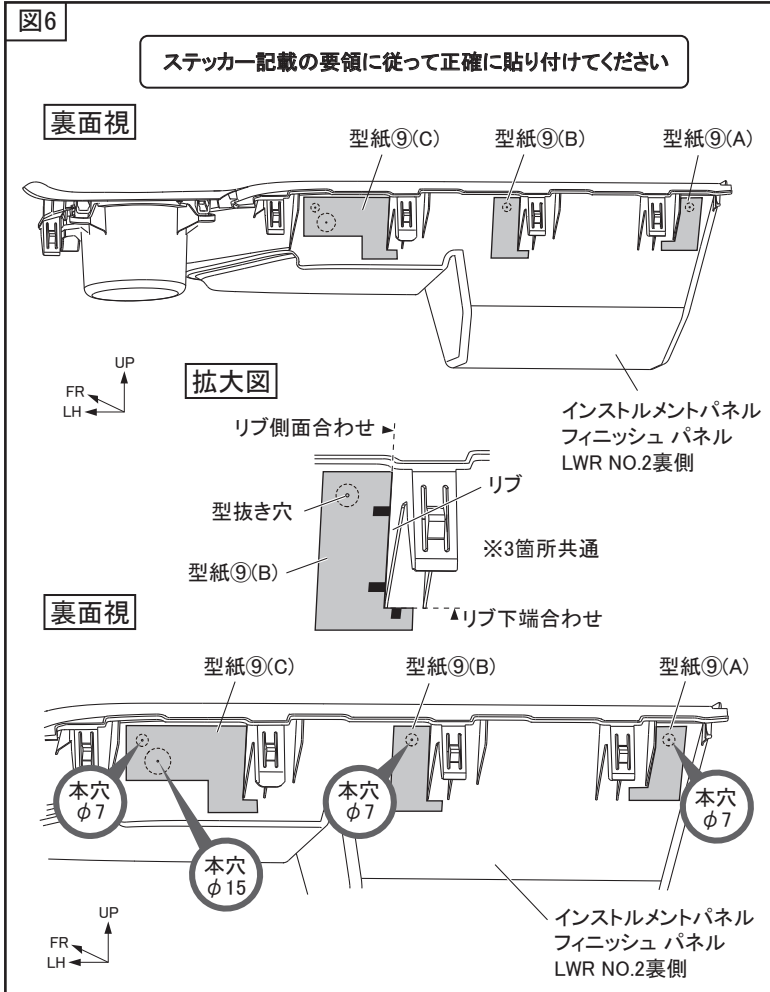


拡大図



13. 図5のように図3で接続したハーネス③の分岐コネクタ(2個)を束ね、音鳴り防止の為クッションテープ⑧を巻きつける。
14. 図2で取り外したハーネスクランプを復元する。

□ LED ガーニッシュの取り付け準備

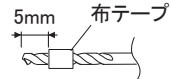


- 図6のように型紙⑨(A)、(B)、(C)を図1で取り外したインストルメントパネルフィニッシュパネル LWR NO.2の後方裏側のリブ形状に合わせて貼り付ける。
- 図6のように型紙⑨(A)、(B)、(C)に型抜きされている小さな穴の中心を狙いケガキ針で印を付け、ドリルで下穴を $\phi 3 \rightarrow \phi 5$ であけ、 $\phi 7$ の本穴をあける。(各1箇所)
- 図6のように型紙⑨(C)に型抜きされている小さな穴の中心を狙いケガキ針で印を付け、ドリルで下穴を $\phi 3 \rightarrow \phi 5$ であけ、ホールソーで $\phi 15$ の本穴をあける。(1箇所)

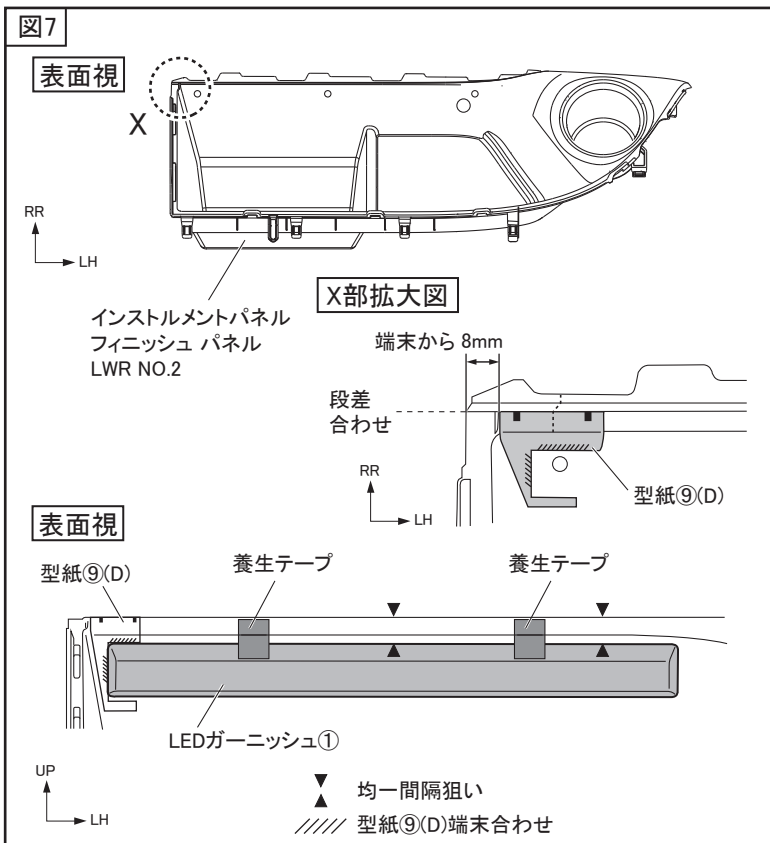
⚠ **注意：**作業時は保護メガネを着用してください。

⚠ **注意：**穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

📌 **アドバイス：**突き抜け防止のため、ドリル先端から5mmのところを布テープを巻付けてください。



- 型紙⑨(A)、(B)、(C)を剥がし、穴周囲のバリを除去する。



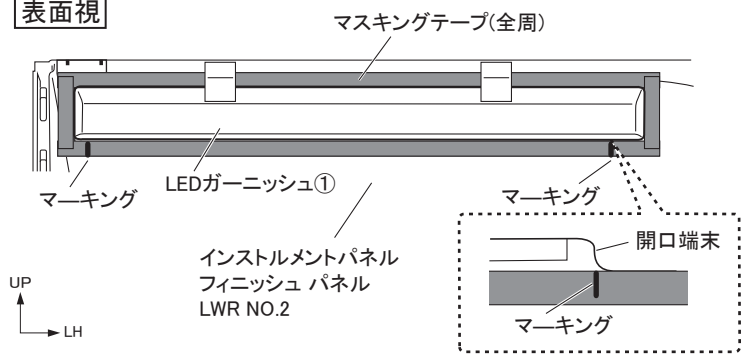
- 図7のように型紙⑨(D)をインストルメントパネルフィニッシュ パネル LWR NO.2に貼り付ける。
- 図7のようにLEDガーニッシュ①をあて、位置を合わせて養生テープで仮固定する。

📌 **アドバイス：**

- 型紙が剥がれやすい場合は、マスキングテープで固定してください。
- インストルメントパネルフィニッシュパネル LWR NO.2は車両から取り外した状態で作業してください。
- ハーネスは図6であけた $\phi 15$ の穴に通して裏側に回し、挟み込まないようにしてください。

図8

表面視



7. 図8のようにLEDガーニッシュ①の外周形状に合わせてマスキングテープを貼り付ける。

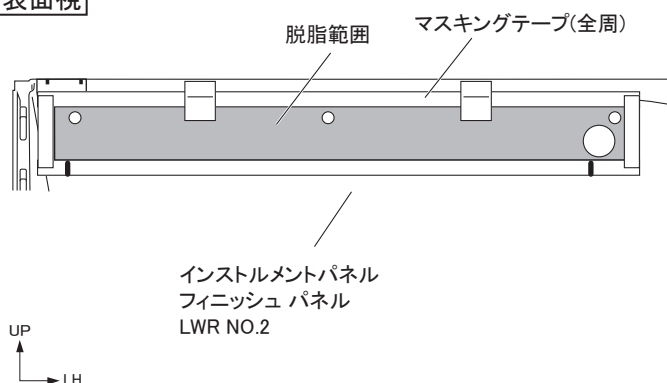
注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置を出し、マスキングを行ってください。

8. マスキング後、LEDガーニッシュ①下側の開口部両端位置をマスキングテープにマーキングする。(2箇所)

9. LEDガーニッシュ①を一旦取り外す。

図9

表面視



10. 図9、インストルメントパネルフィニッシュパネル LWR NO.2 ■部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール(IPA)で一方方向に拭いて脱脂する。

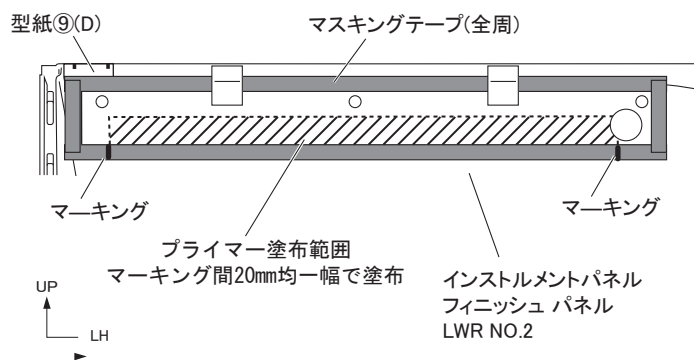
注意：脱脂を行なう際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残リテープが剥がれる原因となります。

アドバイス：脱脂を行なう際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。脱脂後は、十分に乾燥させてください。

※脱脂作業要領書を合わせて確認してください。

図10

表面視



11. 図10 斜線部(両面テープ貼り付け部)にPACプライマーK-500⑩を塗布する。

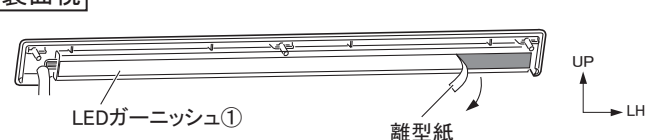
12. プライマー塗布後、マスキングテープを剥がす。

※型紙⑨(D)は剥がさないようにしてください。

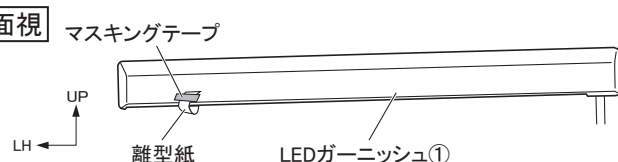
アドバイス：PACプライマー塗布後は、常温で10分間以上放置し乾燥させてください。PACプライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

図11

裏面視



表面視

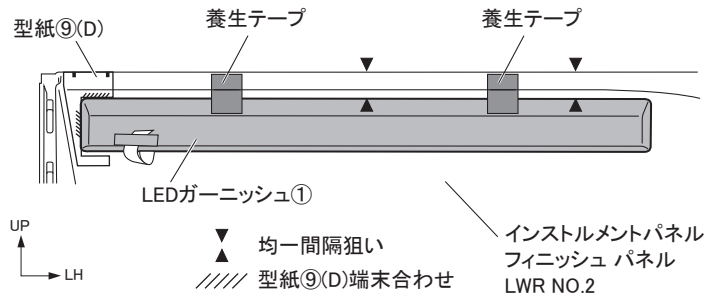


13. 図11のようにLEDガーニッシュ①裏側の両面テープ離型紙を矢印の方向に30mm程度剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。(1箇所)

□ LED ガーニッシュの取り付け

図12

表面視



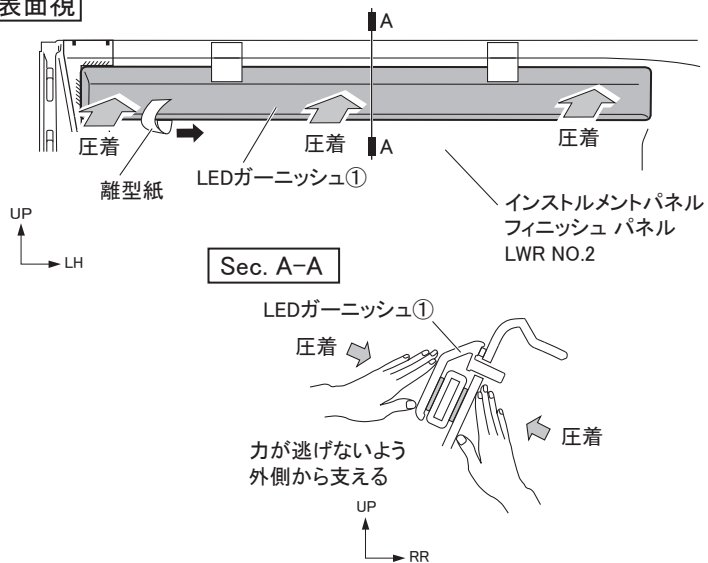
1. 図12のようにインストルメントパネルフィニッシュ パネル LWR NO.2にLEDガーニッシュ①をあて、位置を合わせて養生テープで仮固定する。

アドバイス:

- ・インパネボックスは車両から取り外した状態で作業してください。
- ・ハーネスは図6であけたφ15の穴に通して裏側に回し、挟み込まないようにしてください。

図13

表面視



2. 図13のように両面テープ離型紙を矢印の方向へ剥がしながら圧着する。

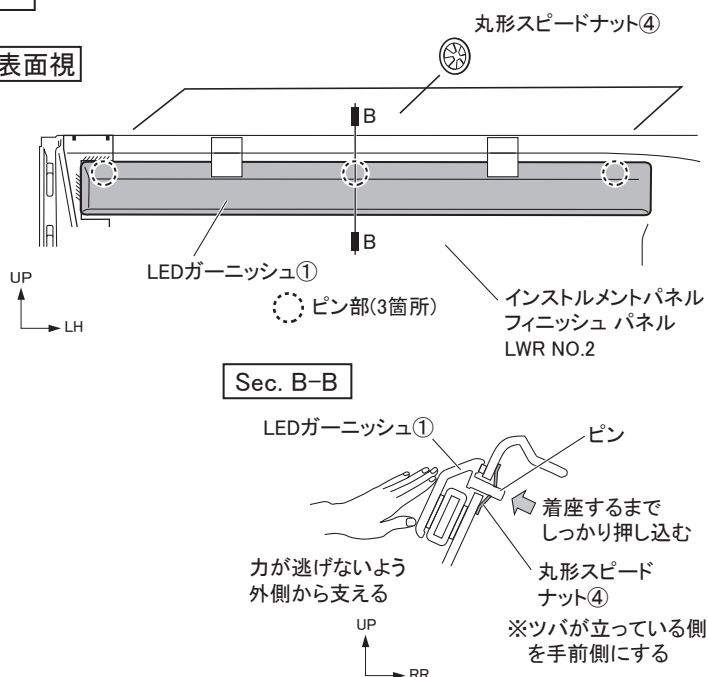


- アドバイス:** 両面テープの接着力は安定するまで3~5時間程度必要です。製品の取り付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、掛からないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

- 警告:** 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し、脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24時間以内は接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

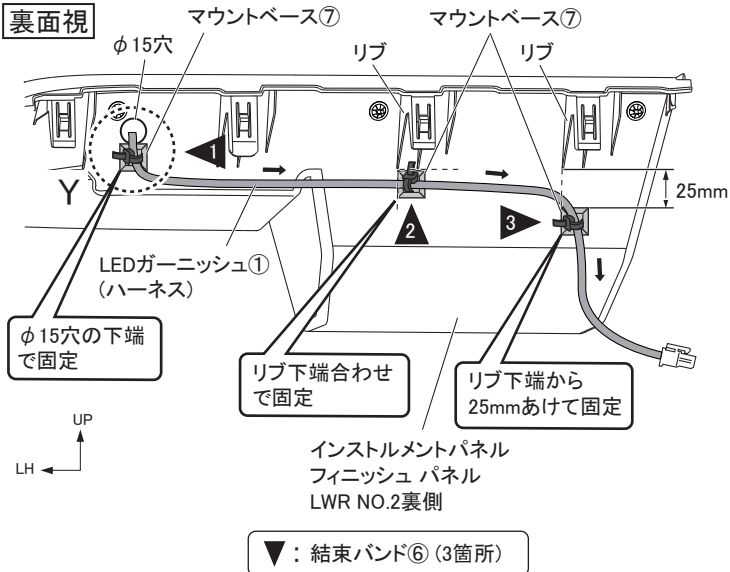
図14

表面視

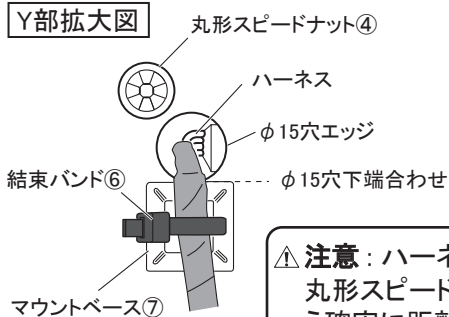


3. 図14のようにLEDガーニッシュ①裏側のピン部に丸形スピードナット④を押し込み固定する。(3箇所)

図15



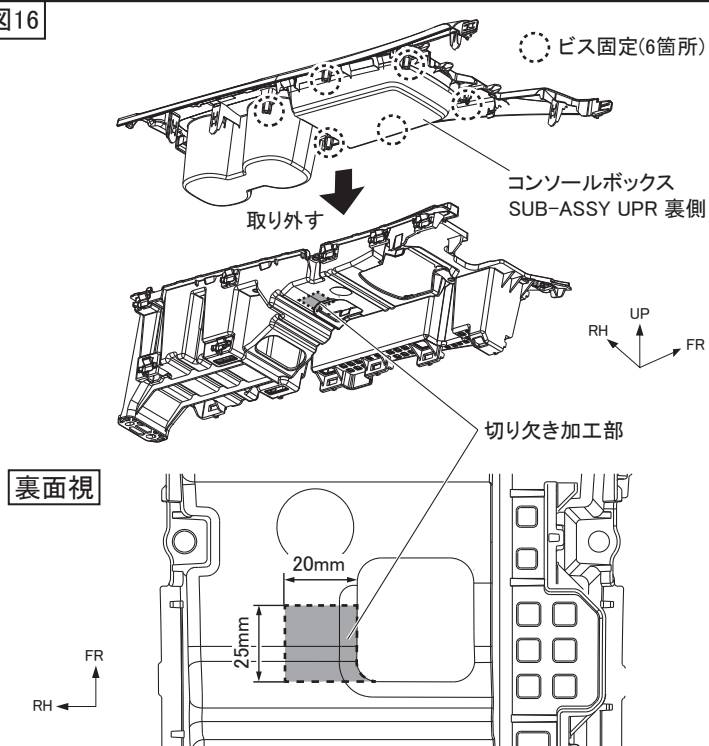
Y部拡大図



⚠ 注意：ハーネスがφ15穴のエッジ、丸形スピードナット④に触れないよう確実に距離を取ってハーネスを結束バンド⑥で固定してください。

☐ コントローラーの取り付け準備

图 16

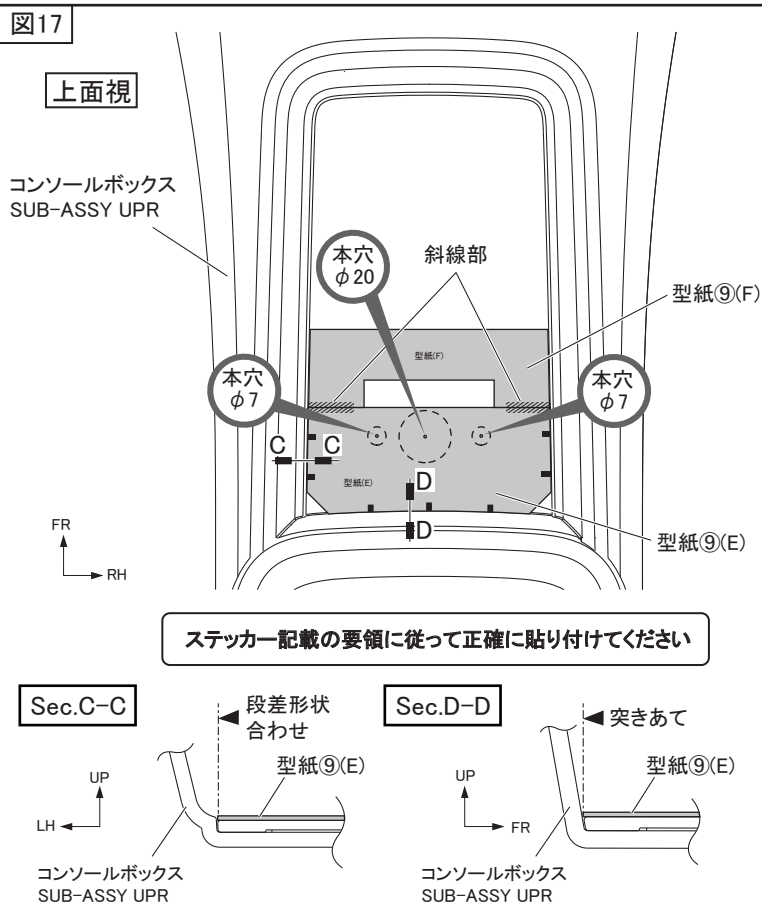


4. 図15のようにインストルメントパネルフィニッシュパネル LWR NO.2裏側にマウントベース⑦を貼り付け、結束バンド⑥でLEDガーニッシュ①のハーネスを固定する。(3箇所)

アドバイス: マウントベース⑦は取り付け部を脱脂してから貼り付けてください。

1. 図16のように図1で取り外したコンソールボックスSUB-ASSY UPR裏側の部品を取り外す。
2. 図16のように取り外した部品の図示破線部を切り欠く。
3. 切り欠き部のバリを除去する。
4. 1.で取り外した部品を復元する。

図17



- 図17のように型紙⑨(E)をコンソールボックス SUB-ASSY UPRに貼り付ける。
- 図17のように型紙⑨(F)を、型紙⑨(E)の斜線部に合わせてコンソールボックス SUB-ASSY UPRに貼り付ける。
- 図17のように型紙⑨(E)に型抜きされている小さな穴の中心を狙いケガキ針で印を付け、ドリルで下穴を $\phi 3 \rightarrow \phi 5$ であけ、 $\phi 7$ の本穴をあける。(2箇所)
- 続いてケガキ針で付けた中央の印にドリルで下穴を $\phi 3 \rightarrow \phi 5$ であけ、ホールソーで $\phi 20$ の本穴をあける。(1箇所)
- 型紙⑨(E)だけを剥がし、穴周囲のバリを除去する。

⚠ **注意：**作業時は保護メガネを着用してください。

⚠ **注意：**穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

📌 **アドバイス：**突き抜け防止のため、ドリル先端から5mmのところを布テープを巻付けてください。

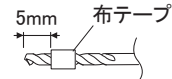
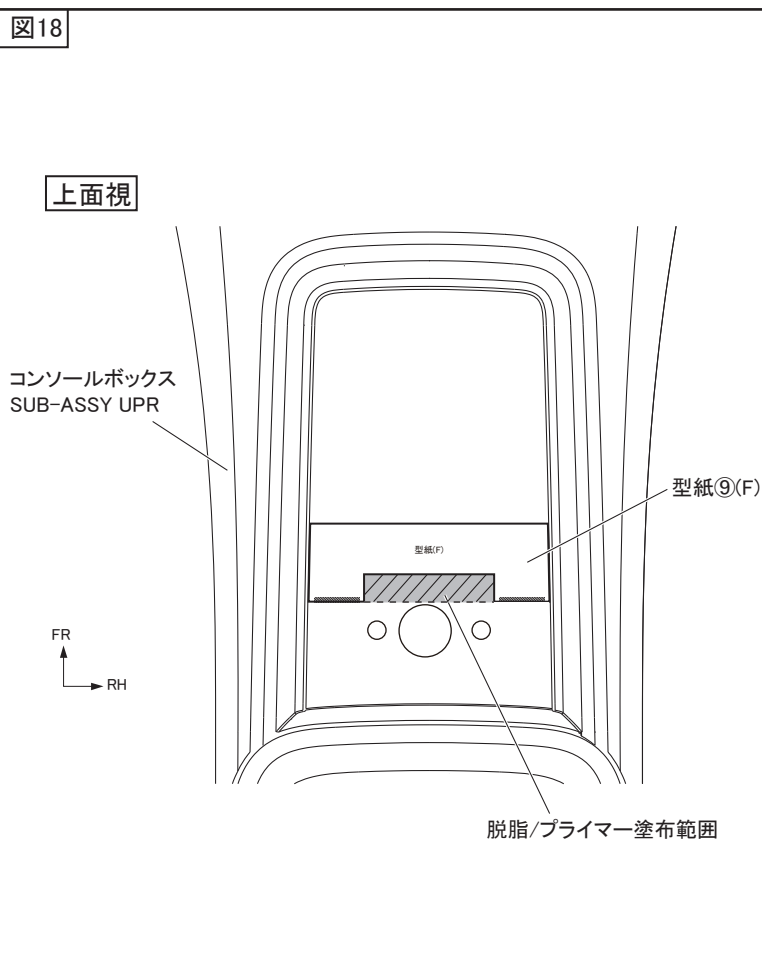


図18



- 図18のように型紙⑨(F)のプライマー塗布範囲をイソプロピルアルコール(IPA)で一方向に拭いて脱脂する。

⚠ **注意：**脱脂を行なう際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残リテープが剥がれる原因となります。

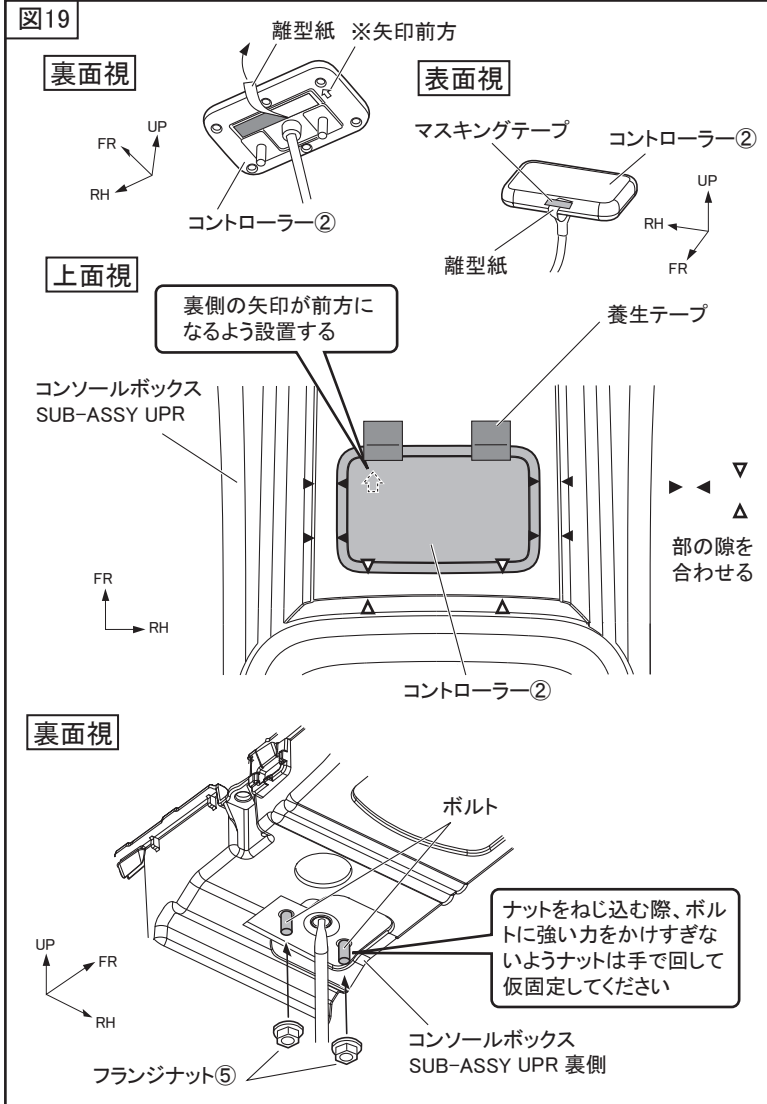
📌 **アドバイス：**脱脂を行なう際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。脱脂後は、十分に乾燥させてください。

※脱脂作業要領書を合わせて確認してください。

- プライマー塗布範囲にPACプライマーK-500 ⑩を塗布する。
- プライマー塗布後、型紙⑨(F)を剥がす。

📌 **アドバイス：**PACプライマー塗布後は、常温で10分間以上放置し乾燥させてください。PACプライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

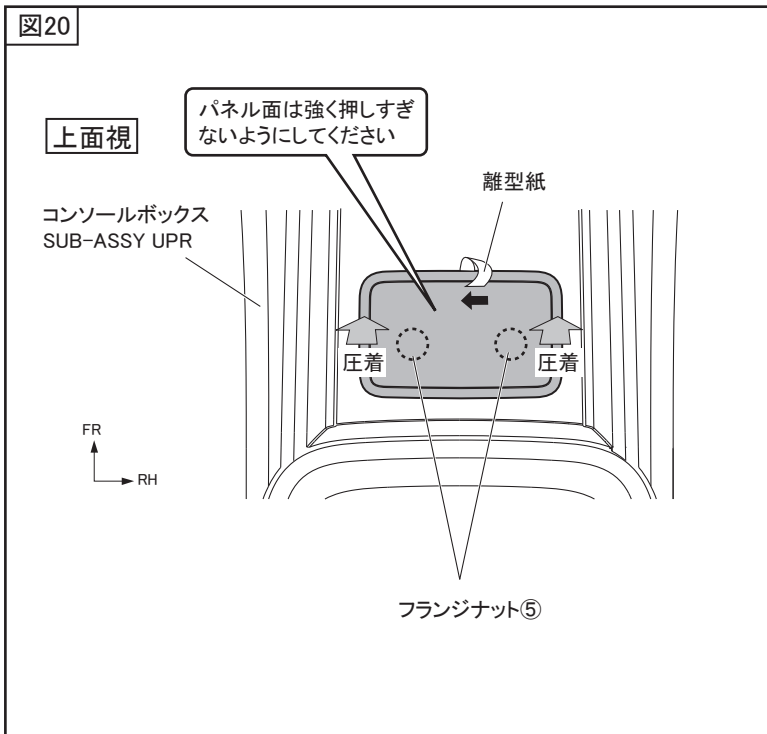
□ コントローラーの取り付け



1. 図19のようにコントローラー②裏側の両面テープ離型紙を矢印の方向に半分程度剥がし、側面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。(1箇所)
2. 図19のようにコンソールボックスSUB-ASSY UPRとコントローラー②の位置を合わせて養生テープで仮固定する。
3. フランジナット⑤で裏側のボルト部を仮固定する。(2箇所)

👉 **アドバイス:**

- ・コンソールボックスSUB-ASSY UPRは車両から取り外した状態で作業をしてください。
- ・ハーネスは図17であけたφ20の穴に通して裏側に回し、挟み込まないようにしてください。



4. 図20のように両面テープ離型紙を矢印の方向へ剥がしながら圧着する。



アドバイス: 両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。製品の取り付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、掛からないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

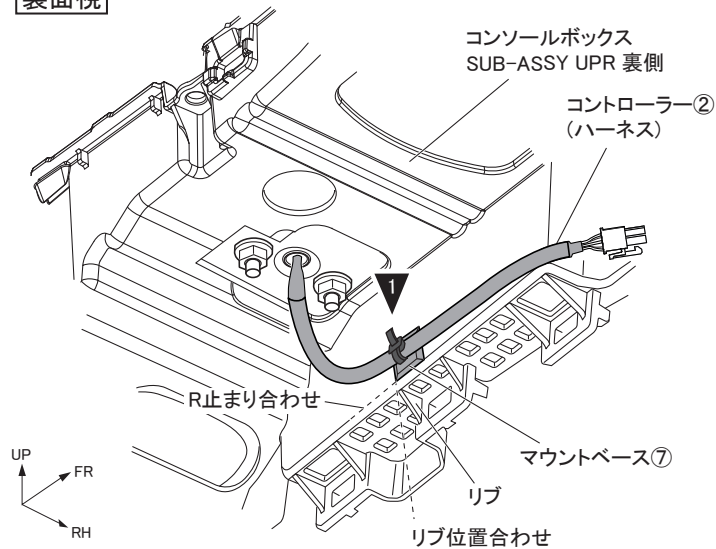


警告: 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し、脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24時間以内は接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

5. 裏側のフランジナット⑤をコントローラー②の取り付け位置がずれないよう注意して本締める。(2箇所)

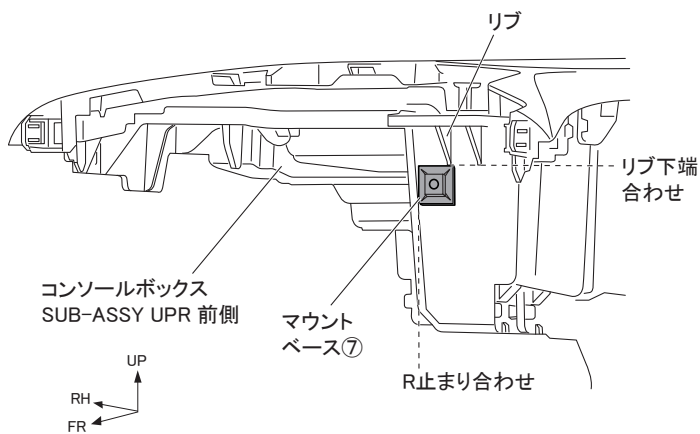
図21

裏面視



▼：結束バンド⑥ (1箇所)

前面視



6. 図21のようにコンソールボックスSUB-ASSY UPR裏側にマウントベース⑦を貼り付け、結束バンド⑥でコントローラー②のハーネスを固定する。
(1箇所)

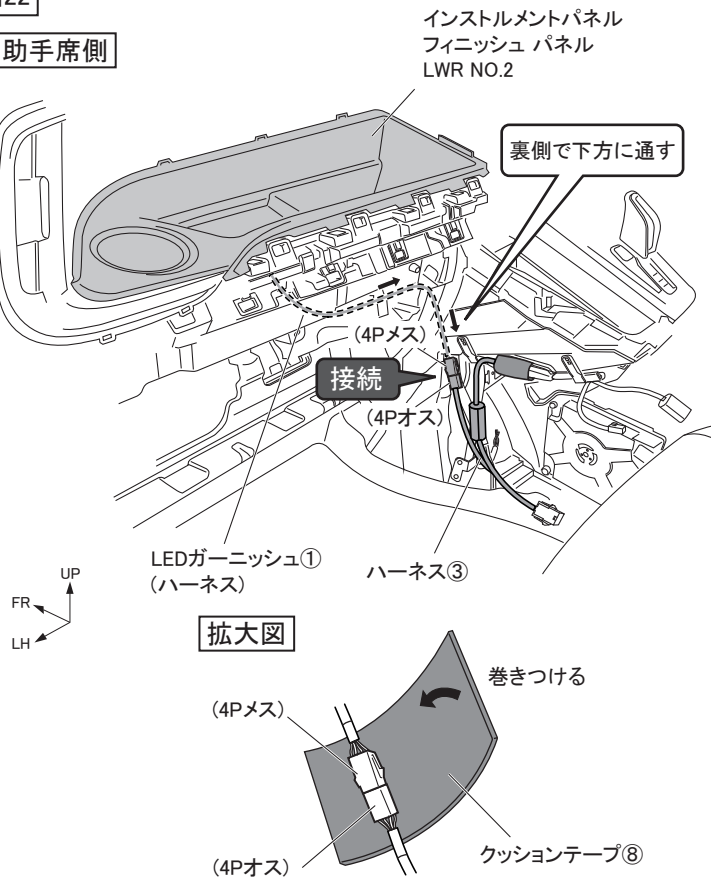
7. 図21のようにコンソールボックスSUB-ASSY UPR前側にマウントベース⑦を貼り付ける。
(1箇所)

アドバイス： マウントベース⑦は取り付け部を脱脂してから貼り付けてください。

□ ハーネスの配策、車両部品の復元

図22

助手席側



1. LEDガーニッシュ①を取り付けたインストルメントパネルフィニッシュパネル LWR NO.2を車両に復元する。

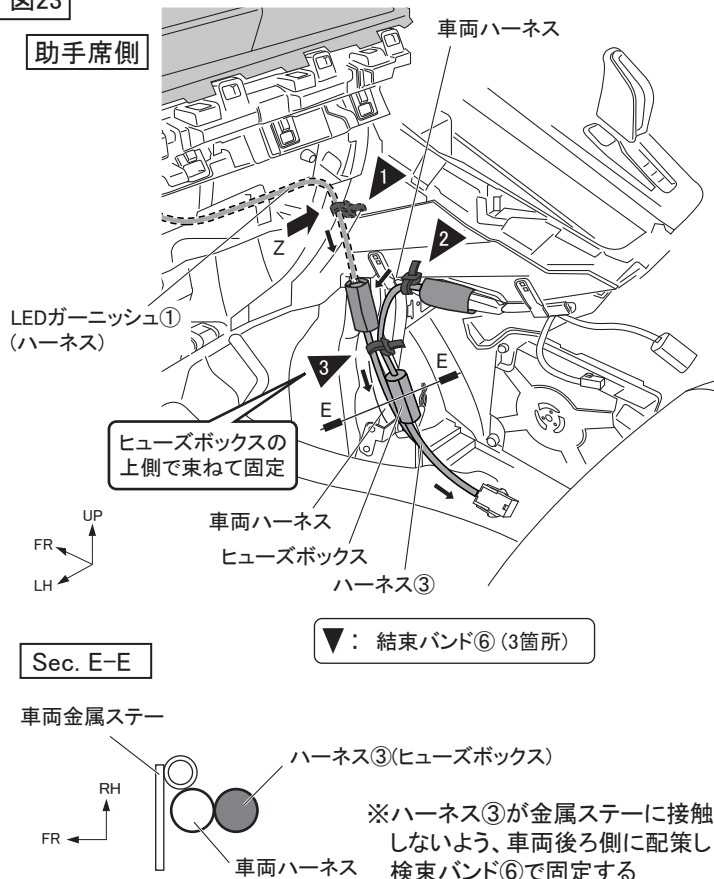
アドバイス：復元の詳細は、トヨタ自動車発行の修理書をご参照ください。

注意：復元の際、LEDガーニッシュのハーネスを車両部品に挟み込まないよう注意してください。

2. 図22のようにLEDガーニッシュ①のハーネスを車両部品の裏から下方に通し、ハーネス③の4PコネクタにLEDガーニッシュ①の4Pコネクタを接続する。
3. 接続したコネクタに音鳴り防止の為クッションテープ⑧を巻きつける。

図23

助手席側



4. 図23のようにハーネス③を配策し、結束バンド⑥で車両ハーネスに固定する。(3箇所)

注意：固定する際は素線部に結束バンドがかからないようにしてください。

Z矢視図

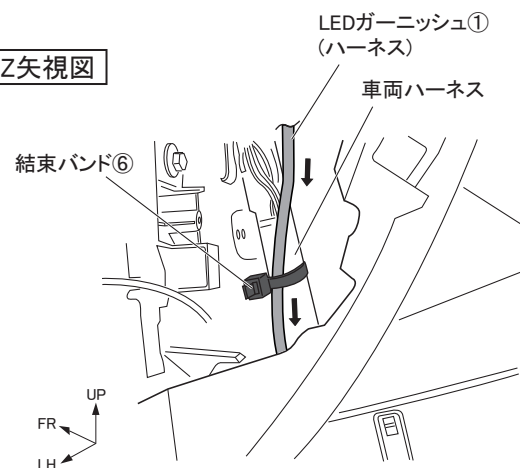
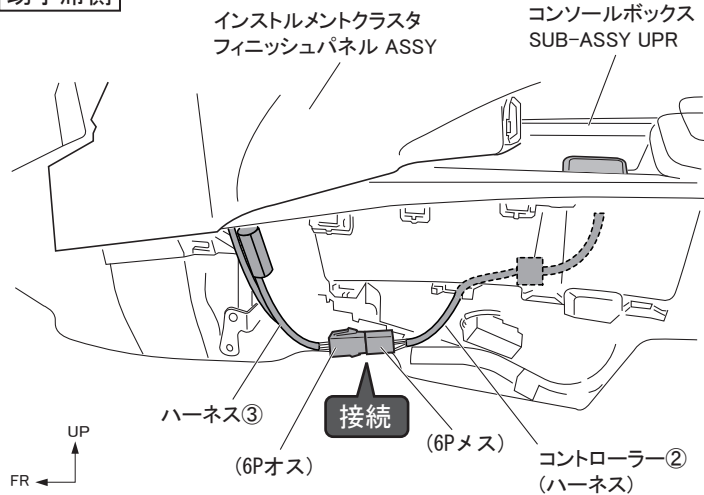
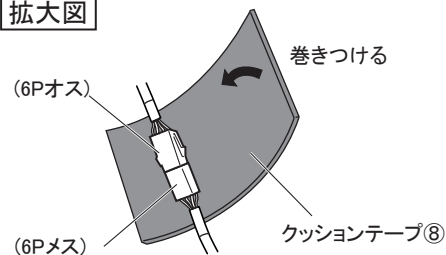


図24

助手席側



拡大図

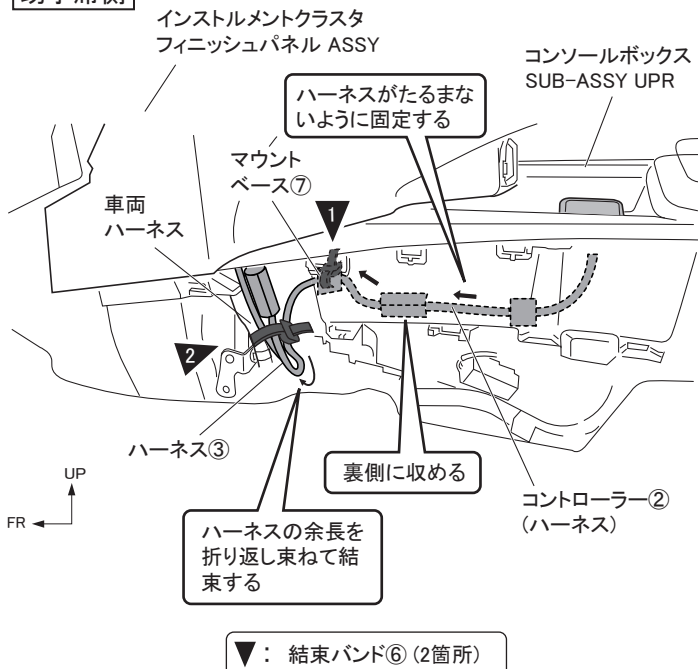


5. インストルメントクラスターフィニッシュパネル ASSYを復元後、図24のようにハーネス③の6Pコネクタに、コントローラー②の6Pコネクタを接続し、コンソールボックスSUB-ASSY UPRを復元する。
6. 接続したコネクタに音鳴り防止の為クッションテープ⑧を巻きつける。

アドバイス：復元の詳細は、トヨタ自動車発行の修理書をご参照ください。

図25

助手席側



7. 図25のように、図21でコンソールボックスSUB-ASSY UPR前側に貼り付けたマウントベース⑦に、ハーネス③を結束バンド⑥で固定する。(1箇所)
8. 図25のようにハーネス③の余長を束ね、結束バンド⑥で車両ハーネスに固定する。(1箇所)
9. 全ての車両部品を復元する。
10. 全てのマスキングテープ、養生テープ及び型紙を剥がす。
11. バッテリーの⊖端子を接続する。
12. ACC電源をONの状態にし、LEDガーニッシュ①、コントローラー②が17ページの仕様表のように点灯、作動することを確認する。

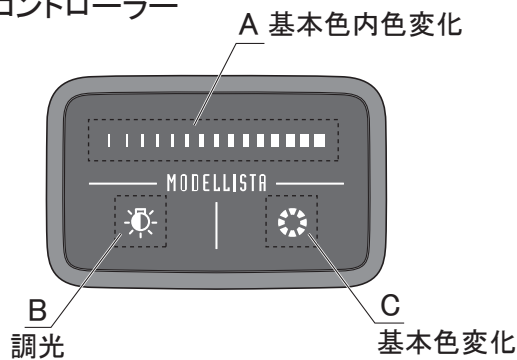
アドバイス：復元の詳細は、トヨタ自動車発行の修理書をご参照ください。

■ 取り付け完了後の点検・注意事項

1. 製品全周にわたり、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及び製品廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

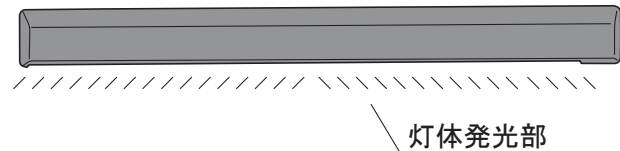
仕様表

□コントローラー



- 白色部:電源ON時、白で発光
※OFF時はブラックアウト
- 点線部:タッチ操作感応範囲

□LEDガーニッシュ

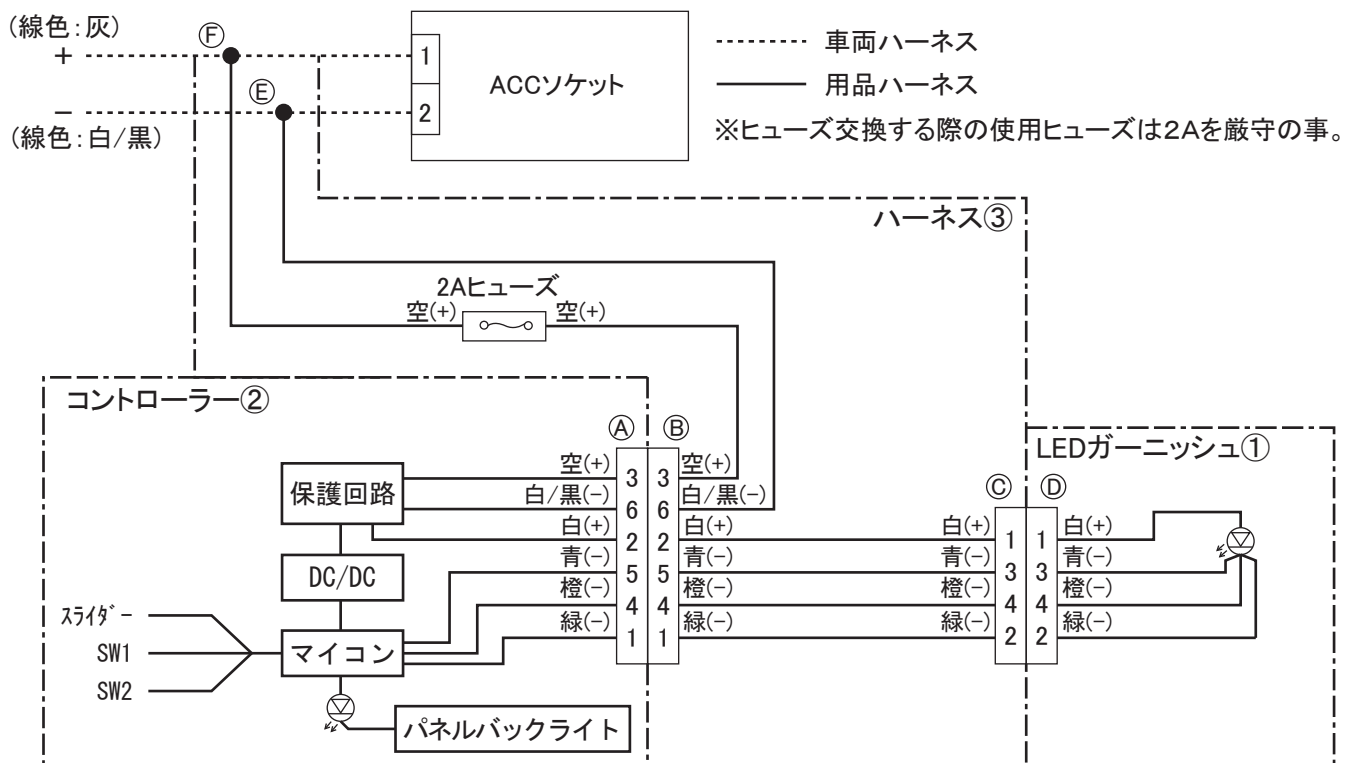


- コントローラーの操作で発光部の色/明るさが変化

□操作・作動・点灯仕様

■点灯条件	車両ACC(アクセサリ)電源ON時に点灯します
■ウエルカムモーション	電源ON時、灯体発光部がゆっくり明→減→明で点灯後、前回メモリー色/調光パターンに移行します ※パネル点灯は減光状態→全灯に移行
■メモリ機能	点灯時、5秒間未操作状態が続くと最終点灯色(色/調光)をメモリーし、電源OFF→ON時にメモリーパターンで再点灯します
■スリープ機能	1)電源ON時、10秒間操作しないとコントローラーパネルの発光が暗くなり(25%)スリープ状態に移行します ※スリープ中は操作が出来ません 2)スリープ状態時にB/C感応範囲を1回タッチすると、スリープ前の状態に復帰し再操作が可能になります
■A	Cで選択した基本色内で灯体発光色をグラデーション変化させます ・左端[細いバー]:最も淡い色 → 右端[太いバー]:最も濃い色(=C基本色) ・操作方法:スライドタッチor任意位置をタッチ
■B	灯体発光部の明るさを調光します ・明(100%)→中(50%)→暗(25%)→消灯→(明に戻る) ・操作方法:タッチor長押し
■C	灯体発光基本色を変化させます ・赤→紫→青→緑→黄→橙→白→シームレス→(赤に戻る) ※コントローラーの発光色は変化しません ※シームレスは3秒間隔で灯体発光色が自動変化します ※白/シームレス選択時はA操作時に色変化は起きません ・操作方法:タッチor長押し

配線図



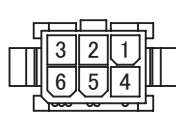
コネクタ図(勘合側から見た図)

①



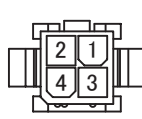
コネクタ色: 乳白

②



コネクタ色: 乳白

③



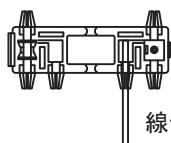
コネクタ色: 乳白

④



コネクタ色: 乳白

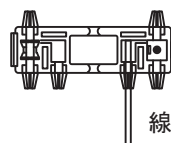
⑤



線色: 白/黒

分岐コネクタ色: 黒

⑥



線色: 空

分岐コネクタ色: 黒

株式会社トヨタカスタマイジング & ディベロップメント

MODELLISTA 商品問い合わせ窓口

TEL:050-3161-1000

<https://www.modellista.co.jp/>

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

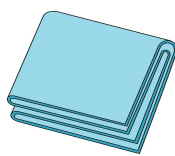


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
- ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
- ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス



WET 用
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠ 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

👉 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



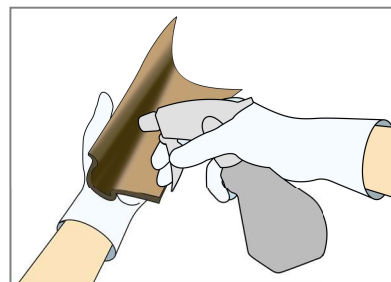
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

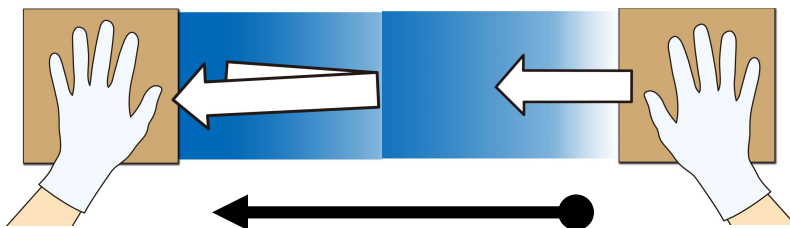
脱脂剤を含ませたウエスで

1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に

拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち

WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

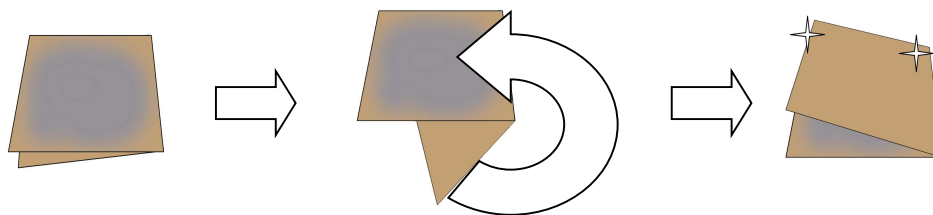
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返しウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際にウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。

パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書にしたがって行ってください。